

東京工芸大学による 東京都「こどもスマイルムーブメント」の取り組みを公開

東京工芸大学（学長：吉野弘章、所在地：東京都中野区、以下、本学）は、東京都が行う、「チルドレンファースト」の社会を創出する取り組み「こどもスマイルムーブメント（以下、本取り組み）」に2021年開始当初から参画しています。このたび、子供の「学ぶ楽しさ」を育む大学として、本学の活動がこどもスマイルムーブメントの公式webサイト（以下、本サイト）で公開されました。

本サイト内で掲載されている本学の主な活動内容は、本学が持つ多様性を活かして子供たちの学びを楽しくするための体験型ワークショップが中心で、1つは、21年前から本学厚木キャンパスで開催されている、地域の子供を対象とした「夏休み親子でわくわくKOUGEIランド」です。毎年夏休みの自由研究などに役立つ約15のテーマでワークショップを開講しています。

2つ目は、本学「色の国際科学芸術研究センター」に附置されている「色」をテーマとした常設ギャラリー「カラボギャラリー」でのワークショップです。小・中学生を対象に親子で参加でき、アート作品を通じて「色」の科学的・芸術的な面白さや奥深さを体験することができます。

3つ目は、本学中野キャンパスが位置する中野区弥生町の子供を対象とした「弥生地区ワークショップ」です。写真レンズを使わず針穴を利用した、ピンホールカメラによる「手作り写真」の制作体験などを通じて、普段見ているものの裏側を知ることができます。

このほか、新たな取り組みとして、2023年1月6日（金）に開催された「コウゲイゲームショウ2023」についても紹介。これは、演習授業を通じて学生自らが制作したテレビゲームやVRゲーム、ボードゲームなど、ゲーム作品8点を一般公開し、試遊いただく企画です。本学中野キャンパス近隣住民の皆さま、特に近隣の小学校に通学する子供たちに来場いただき、対話しながら、メディア芸術を体感し、創造することの価値や楽しさも共有できる機会となりました。

東京都が行う本取り組みは、子供の視線を大切に「現在」「未来」の子供の笑顔につながるムーブメントを展開するものです。本学は、この趣旨に賛同し、2021年から参画しています。

本学は、工学部と芸術学部のみで構成される特色を生かし、先端テクノロジーとアートの融合を推進するユニークな高等教育機関として地域社会に貢献することを使命と考えています。

2023年10月5日、本学は創立100周年を迎えます。人材育成・研究拠点の場である充実した環境で、ギャラリーや劇場型の教室など大学が持つ施設・知的財産を活用し、未来の子供の笑顔につながる様々な取り組みを行ってまいります。

本学の取り組みの詳細は以下のこどもスマイルムーブメント公式webサイトからご覧いただけます。

■「こどもスマイルムーブメント」東京工芸大学取り組み内容

【URL】<https://kodomo-smile.metro.tokyo.lg.jp/tanbou/%e6%9d%b1%e4%ba%ac%e5%b7%a5%e8%8a%b8%e5%a4%a7%e5%ad%a6/>